

布施の心

25

本多 克也
（翻字も）
文・徳永 耕一

【布施の心】

長崎工場オープン以来、諫早駅前のホテルを定宿と決めている。諫早駅は島原鉄道も利用できるので便利だ。夏も近いある日、遅めの夕食を諫早駅近くの居酒屋で終えると、久しぶりに本明川沿いを散歩した。川風はひんやりと頬を撫で、川面に揺らめくネオンの光はそこはかとなく旅情を誘った。

私はふと、川沿いの一軒のスナックの前で足を止めた。今まで滅多に飛び込みでスナックに入つたことなどないが、なぜかその店は「一度覗いてみよう」という気を起させた。その店は「京子」といった。ドアの前でひと息ついで、思い切ってドアを開けると、明るく弾むママさんの声が耳に飛び込んできた。

「いらっしゃいませ」

何の店もそうだが、入つたとたんに明るい声で迎えられるのは、「ウエルカムです」と言われているようで気分がよい。まして、初めての店では緊張が解けてホッとする。そして後で思えば、その声は信仰の道への誘いの声でもあった。ママさんは熱心な真言宗の信者で度を受けられたことが、まもなく分かった。お寺は佐賀県基山町の吉祥寺といった。そこに月に一度必ずお参りに行くとのこと。ママさんからかしく思い出される。



会社設立50周年の記念碑と社員たち

2023年3月本多産業株式会社は
設立50周年を迎えました。

本多産業株式会社

【本 社】神奈川県横浜市戸塚区戸塚町3814
TEL:045-869-1133
【長崎工場】長崎県雲仙市吾妻町布江名677
TEL:0957-38-3520

何度も話を聞くうちに私も関心が湧いてきて、運転手役を買って出た。

ある日、お寺の駐車場でママさんの戻りを待つていると、

和尚さんから声をかけられた。

「中にお入りになりますか？」

和尚さんは、ママさんから聞いていたとおり品があり、私は誘われるままに堂内へとついていった。それ以来、私自身も当事者になり、佛法話に積極的に参加した。

和尚さんの教えは、どれもためになることばかりだったが、中でも「布施の心」は、母の口ぐせの「人にはようせんばよ」とも相通じるものがあり、強く惹かれた。

そして平成23年、私は待望の得度を受けた。

得度式で静かに仏様に向き合っていると、いろいろな方々のお顔やお姿が浮かんできた。何よりも、貧しいながらも愛情いっぱいに育ててくれた母の姿が思い出されて、感謝とともに涙が溢れてきた。

宮崎輝先生、宮崎輝さん、中野宅馬先生、岡野良一さん、石川さん、後輩の蓮見君、エメットさん、A社の皆様、我が社の社員、吾妻町役場の皆さん、高田勇知事、惣菜屋のおじさん、飯場の人夫さん、そしてここに載せきれない多くの善意の方々…感謝しても感謝し切れない。

「これから的人生、『報恩』と『布施の心』をしっかりと飛び込んできた。岡野さんのお嬢さんが気を利かせて連絡してくれたのだ。吾妻町から名古屋まで急いだが、お通夜には間に合わなかった。しかし、お嬢さんの計らいで、安らかに眠る岡野さんと翌日納棺の前に、二人きりで3時間程、心ゆくまで積もる話をすることことができた。

（完）

この連載の執筆に腕を振るっていたいたいジスコ不動産社長の
徳永耕一様を始め皆様には長い間、私の拙い自分史をお目通しい
ただき、ありがとうございました！